

豊水

Shizuoka Deep Seawater ARC NEWS

Vol. 24

静岡県水産技術研究所

駿河湾深層水水産利用施設

Suruga-Bay Deep Seawater Aquaculture Research Center

of Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery

平成21年度当初にあたり

駿河湾深層水水産利用施設は、深層水のもつ特性を利用し、水産生物の増養殖における利用技術開発を行うことにより、本県の水産振興に寄与することを目的に平成16年4月に開所し、今年度で6年目を迎えました。

開所以来、深層水の有効利用や新しい養殖技術の開発などさまざまな成果をあげてきました。これからは、これらの技術を基に駿河湾深層水が産業や生活の発展向上に直接役立つ技術の開発に力を入れていこうと考えています。

スタッフも大きく変わりました。施設開設当初から在籍していた岡本一利主任研究員（水産資源室主幹へ）と二村副主任（利用普及部企画加工研究室へ）が転出し、新たに吉川昌之主任研究員が水産技術研究所浜名湖分場から、吉川康夫主任研究員が漁業高等学園から転入しました。たまたま苗字が同じなので少し紛らわしいのですがご勘弁願います。

研究スタッフ紹介

水産技術研究所 利用普及部 深層水研究室
室長

主任研究員 吉川 昌之

担当：深層水養殖産業企業化研究等

主任研究員 吉川 康夫

担当：深層水有用藻類培養研究等

主任研究員 野田 浩之

担当：サガラメ・カジメ増養殖の効率化研究
深層水養殖産業企業化研究等

副主任 松浦 玲子

担当：深層水養殖産業企業化研究
深層水有用藻類培養研究等

研究課題一覧

深層水養殖産業企業化開発	深層水利用による新規養殖の企業化に向けた技術の確立を図る。
深層水有用藻類培養研究	深層水を利用して有用藻類を培養するにあたり、機能性成分をより多く含む培養条件を明らかにし、食品・素材としての利用方法を開発する。
サガラメ・カジメ増養殖の効率化研究	サガラメ・カジメの簡易移植方法の開発と種苗生産の簡略化による増養殖事業の効率化を図る。